

5年生総合 授業プログラム

(1) プログラム名 山菜園をつくろう! ~協和の自然について考える~

(2) プログラム構想

ア ねらい

(ア) 学区の宝物を調べることにより, 協和の自然の恵みについて考えることができる。

(イ) 山菜園づくりを通して, 山菜の植生や育て方について知ることができる。

イ 単元構想について

5年生ともなると, 地域ふるさとの自然の全体像を子どもなりにとらえることができる。前学年で体験した山菜採りが話題となった。地域にみえる野菜・山菜に詳しい方からの説明を聞きながら採集したことから, 自分たちの手で人に頼らずに見つけ出したいという思いを醸成することによって, 校庭の空きスペースを活用した「山菜園づくり」の構想一次案を作成した。空きスペース選定の根拠と, 植えようとする山菜の決定には専門的な知識が必要となるため, SGを呼び込もうとする動きが生まれるだろう。場所も複数となるため, それぞれの山菜に合わせた山菜園づくりを保障したいと考えた。実際の学習の中で, もっとたくさんの山菜や「自然薯」の栽培はできないだろうかと思いがふくらんでいった。そのため, 校庭の一角を利用した山菜園活動と, 校外の土地を利用した自然薯の畑栽培の二本立てで, 構想二次案を作成することとなった。

ウ プログラム構想図(30時間完了)

杉の子学習(総合)二次案

協和の宝物は何だろう

・学区のよさを考える。自然のめぐみ, 人のつながり。

自然のめぐみについて考えよう

・季節による良さ(特色)を知る。

・春のめぐみ(山菜等)

・夏のめぐみ(川遊び等)

・秋のめぐみ(自然薯等)

・春のめぐみについて調べてみよう。

山菜の特色を知る。

山菜調べ

一人調べ

グループでのまとめ

発表

・学校の敷地内で見られるものを探そう

自然薯の葉っぱを見つけたよ。

・学校にも山菜を観察する場所がほしいな。

掘ったら小さな芋みたいなものがあったので植え直した。

山菜園をつくろう

草捨て場の横の小梅の木の下に植えたよ。(A男)

・みんなの役に立つものにしよう。

自然薯畑をつくろう

・自然薯も育ててみたい。植える時期は?

山菜を植える場所を考えよう

植える場所は?

SGのMさんの意見を参考にして決める。

学校の裏の方に空き地があるよ。(B男)

1~2箇所に決めて活動に移る。

植える場所をつくろう

頼んで貸してもらおう。場所が確保できた。

山菜園の範囲がしっかりと分かるようにつくる。

自然薯を育てよう

山菜を植えよう

Kさんに育て方を教えてもらおう。

植え方や植える時期を考える。

畑を耕そう

植える位置や掘る深さを考える。

山菜園の整備をしよう

協和小学校の宝物となるような整備の仕方を考える。

自然薯を植えよう

紹介の仕方を考えながら整備を進める。

SGのKさんの説明を聞いて植える。

・名札づくりや説明文づくり

地域の人に聞きながら考える

・計画を立てて世話をする。

・山菜園の名前

育て方を考えよう

・観察や整備を続ける。

・校内山菜マップ

・整備をしながら山菜園を

完成させる。

・じゃぶに育つといいな

・大きくなると芋を育てたい

・秋から冬にかけての管理

・秋のふるさとを味わう会を意識しながら活動する。

・春に向けての準備

・自然薯を収穫しよう。

・むかご(自然薯の種)を植える。

秋のふるさとを味わう会

・味わってみよう。

